

## 会 議 録

会議名	令和4年度 第3回 大野北地区まちづくり会議			
事務局 (担当課)	中央区役所 大野北まちづくりセンター 電話 042-861-4512			
開催日時	令和4年7月26日(火) 18時30分~20時00分			
開催場所	大野北公民館 大会議室			
出席者	委員	20人 (別紙のとおり)		
	その他	1人 公民館長代理		
	事務局	2人 まちづくりセンター所長、同主査		
公開の可否	可	不可	一部不可	傍聴者数 1人
公開不可・一部公開不可の場合は、その理由				
会議次第	1 あいさつ 2 議 題 (1) まちづくりを考える懇談会のテーマについて 3 出席委員からの情報提供 4 その他 (1) 次回日程について 5 閉 会			

## 審 議 経 過

### 1 あいさつ

山口会長よりあいさつ（以後進行は山口会長）

### 2 議 題

#### （１）まちづくりを考える懇談会のテーマについて

事務局より、地区まちづくりを考える懇談会実施要領（案）、まちづくりを考える懇談会の開催の流れ（案）について説明。

大野北地区は、開催希望日を第一希望１０月２５日、第二希望１０月２７日、第三希望１１月１日と要望していることを報告した。

過去の懇談会で取り上げたテーマを紹介し、今年度のテーマ（案）を説明し検討を行った。

<主な意見> ○は委員の発言、 は役員の発言、 は事務局の発言

○淵野辺駅南口だけが重視されている内容に感じる。

北口はどうなるだろうか？北口にも目を向けて欲しい。

南口の公共施設の再整備に取り組んだ後に、淵野辺駅周辺の賑わいについても考える必要がある。

しかしながら、淵野辺駅周辺全体としてのまちづくりについては、これからというのが現状である。

○市民検討会に任せるだけではなく、大野北地区としての意見を考える必要がある。

市民検討会では施設の統合に重きがおかれて統合後の跡地の活用についてはあまり検討されていない。

大野北地区として、跡地利用についての考えをもっておく必要がある。

公共施設統合後の駅前の再開発、南北のことも考えていかなければいけない。

市全体としては人口が減少していき、他地区では学校の統廃合が進められているが、大野北地区は児童数が増加している。また、大学や JAXA など多くの資源があり、他地区とは違うと考える。市に任せきりにせず、地域としての主体性が必要と考える。

当初は建物を統合するだけでなく、跡地利用についてはデベロッパーと一緒に検討していくことを考えていたが、公共施設の複合化が注目されてしまい、跡地の利用については止まってしまっているのが現状である。

本来は跡地のことも一緒に考えていかなければいけないと考える。

○大野北地区ではなく大野北区、公園には新しい区庁舎が出来るといった、心意気があればと思う。

○「都市基盤」とは具体的にどのような内容か？

ここでいう「都市基盤」とは、市民検討会のグループワークのなかのグループ名であり、公共施設の統合にあわせた淵野辺駅周辺の道路や駅周辺など、全体のまちづくりのことである。

○市民検討会ではさかんに複合施設についての検討が行われている。一方、昨年度のまちづくり会議では、グループワークを行い地域課題として、「世代間交流」を復活させて地域を活性化することと考えた。

市が令和4年度中に基本計画を策定するので、まちづくり会議で検討した地域課題の解決に向けた計画となるよう要望し、世代間交流を複合施設でどのように実現するか、世代間交流に跡地をどのように活用していくのかが懇談会の大きなテーマと考える。

○前回の懇談会で回答されなかったものを、テーマとして確認するのはどうか。

○世代間交流が図られ、地域が活性化している状態を実現するには、どのように淵野辺駅南口周辺のまちづくりをしていけば良いのか、懇談会で意見交換できればと思う。まちづくりには、ランドデザインが大事。一つには駅からの人や地域に住んでいる人にとっての施設へのアクセスを考えられているのか？といったことを市に確認したい。

○公共施設が複合化されて、多くの土地が生まれる。

当初は駐輪場も移転の対象となっていた。そうなった時に、駅前に広い跡地が発生する。それをどう活用したら淵野辺駅の南口が活性化されるのか？大胆に将来的なことを考えては。

市民検討会では駐輪場の新設は、公民館跡地に仮設を建ててから現在の位置に建て直すといった話である。

現状のまま跡地の有効活用を考えないで、施設の複合化だけでいいのか。

検討会に任せるだけでなく、大野北地区として、駅前をどうしたいのか意見をもつ必要がある。

テーマの中で都市型の機能を備えた施設を要望している。特に、世代間交流で地域が活性化していることの実現を重要と考える。

世代間交流のできる施設を建てることで他地区からの人の流入で人口増加が図られると考える。

○駅前の再開発、都市基盤のことが分からないので、周辺整備、建物だけで残った駅前周辺の将来像が見えない。跡地利用などを含めた内容をテーマに盛り込めないか。

次回のまちづくり会議で、跡地利用などを含めたテーマを再提案することで了承。

### 3 出席委員からの情報提供

・大野北第1地域包括支援センターより「情報紙」を作成したので、地域への配布を希望される場合は連絡してほしいと説明がされた。

・公民館より70周年記念誌の記事募集チラシについて案内された。

・事務局より大野北銀河まつりの開催を案内した。

4 その他

(1) 次回日程について

次回は、令和4年8月30日(火)午後6時30分から開催予定と事務局から報告。

5 閉会

小川副会長が閉会

以上

令和4年度 大野北地区まちづくり会議委員出席者名簿

	氏名	所属団体等の名称	出欠席
1	山口 信郎	大野北地区自治会連合会	出
		大野北地区社会福祉協議会	
2	飯田 秀雄	大野北地区自治会連合会	出
3	林 知治	大野北地区自治会連合会	出
4	脇山 寿満子	大野北地区民生委員児童委員協議会	出
5	小野澤 行雄	大野北地区社会福祉協議会	欠
6	小川 紳夫	大野北公民館	出
7	田加井 政男	交通安全協会	出
8	長谷川 文代	大野北地区交通安全母の会	欠
9	岡 純正	大野北地区老人クラブ連合会	出
10	安藤 貴光	相模原市消防団中央方面隊第三分団	出
11	佐久田 ロサマリア	さがみはら国際交流ラウンジ運営機構	欠
12	小方 明	大野北青少年健全育成協議会	出
13	高橋 美保	青少年指導委員大野北地区協議会	出
14	村田 明夫	スポーツ推進委員大野北地区協議会	出
15	岡部 尚紀	小学校	欠
16	古屋 礼史	中学校	出
17	安部 智	小・中学校PTA	出
18	三條 久美子	青山学院大学	出
19	山岸 優之	桜美林学園	出
20	白石 一郎	麻布大学	出
21	宮津 敏信	ボランティアグループ	出
22	伊藤 憲秀	大野北第1地域包括支援センター	出
23	加瀬 剛広	大野北第2地域包括支援センター	欠
24	森光 雄一郎	にこにこ星ふちのべ商店会	出
25	櫻内 康裕	淵野辺駅南口商栄会	欠
26	玉城 洋	相模原市農業協同組合淵野辺支店	出

## 令和4年度 第3回大野北地区まちづくり会議

日 時 令和4年7月26日(火)  
午後6時30分から  
場 所 大野北公民館 1階 大会議室

### 次 第

1 あいさつ

2 議 題

(1) まちづくりを考える懇談会のテーマについて

3 出席委員からの情報提供

4 その他

(1) 次回日程について

日 時 令和4年8月30日(火) 午後6時30分から  
場 所 大野北公民館 大会議

以 上

## 令和4年度 地区まちづくりを考える懇談会実施要領（案）

### 1 目的

まちづくり会議の委員と市が意見交換や情報共有しながら、地域の特性や地域資源を生かしたまちづくりを協働して考える場を設け、住みよいまちづくりを推進する。

### 2 本年度の開催方針等

各地区まちづくり会議が市長と地区のまちづくりについて考える「対話」の場を希望した場合に開催する。

また、名称をまちづくりを考える懇談会「地域の未来を語ろう with 市長」として実施する。

### 3 開催単位

各地区年1回1会場までとする。

### 4 実施方法

各地区まちづくり会議と市の協働により開催する。

### 5 開催日等

開催日及び会場は、まちづくり会議と市との調整により決定する。

開催時間は原則午後7時からとする。

（まちづくり会議側からの希望がある場合は、昼間の開催も可能とする。）

### 6 進行等

懇談会の進行等はまちづくり会議の代表者等が行い、開催時間は概ね1時間30分とする。

### 7 出席者

（1）地区の出席者は、まちづくり会議の委員とする。なお、まちづくり会議が特に必要とする場合には、委員以外の出席を認めることができるものとする。

（2）市側の出席者は、市長、テーマ担当副市長、区長、テーマに関連する局長（市長公室長含む。）及び事務局長とする。ただし、区長は副区長が、局長は部長が代わることができ、部長職が設置されていない局については、局長が指定する所属長が代わることができ、事務局長は次長が代わることができるものとする。また、まちづくり会議事務局の職員、テーマに関連する部署の課長及び職員も出席できるものとする。

市長の公務日程等で対応できない場合がある。

## 8 懇談の内容

地区のまちづくりに関して、地区でテーマを設定する（原則一つ）。

### 【テーマの考え方】

- ア 現在、地区で重点的に取り組んでいるもの。
- イ 今後、地区で取り組んでいく必要があるもの。

## 9 傍聴

当日受付とし、地区以外の住民も傍聴可能とする。ただし、会場の都合により、座席数には限りがあるため、希望者が多い場合には抽選により、傍聴者を決定する場合がある。

## 10 周知方法

市ホームページ及び地域情報紙にて周知を行う。



## 令和4年度 まちづくりを考える懇談会の開催の流れ(案)

### 1 令和4年度地区まちづくりを考える懇談会の構成

- (1) 開会(まちづくり会議委員)
- (2) 出席者の紹介(まちづくり会議委員・市側出席者)
- (3) まちづくり会議代表あいさつ
- (4) 市長あいさつ
- (5) 懇談

議論の視点「地域でできること」、「市がやるべきこと」、「協働でできること」とは何かという視点から建設的な懇談の場とする。

- ・テーマの説明をまちづくり会議から説明(パワーポイント、資料等)
- ・テーマに関連する市や区の実践等について説明(関連する区長、局長等)
- ・テーマについての懇談
- ・まちづくり会議代表あいさつ

- (6) 市長あいさつ(感想)
- (7) 閉会

## 大野北地区まちづくりを考える懇談会テーマ（案）

地区のまちづくりに関して、地区でテーマを選定する(原則一つ)。

現在、地区で重点的に取り組んでいるもの。

今後、地区で取り組んでいく必要があるもの。

### テーマの概要・内容

概 要	公共施設の再整備と淵野辺駅南口周辺のまちづくりについて
内 容	<p>淵野辺駅南口周辺のまちづくりにおける公共施設の再整備については、大野北地区のみならず本市の人口の流入増を図る上でも、将来を見据え、政令指定都市に相応しく、また、地域住民ひとりひとりにとってもやさしい複合施設としての整備が喫緊の課題であると認識している。</p> <p>このため、平成30年度に策定した「大野北地区まちづくり会議報告書」において、「各施設の老朽化が進行している」ことの現状の認識と、「公共施設の複合化による都市型の機能をそなえた、幅広い世代が活躍することができる場を創出する」ことの必要性を提言した経緯がある。</p> <p>さらに、現在も継続開催されている「次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくり市民検討会」では、『公共施設』『公園』『都市基盤(まちづくり)』の各部門において、多くの検討が行われていることは承知しており、昨年度のまちづくり会議では、「次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくり市民検討会」での検討経過について、市の関係部署からの説明を受けるとともに、事業予定は、令和4年度中に基本計画を策定して、6年後を目途に複合施設の整備、移転完了との説明があったことから、基本計画の策定にあたっては、まちづくり会議の意見、意向にも配慮して欲しい旨を市に伝えたところである。</p> <p>このような経過を踏まえると、大野北地区まちづくり会議が掲げる地域課題である「世代間交流で地域が活性化している状態」の実現のためにはスピード感を伴った実効性のある基本計画の策定を促すとともに、今年度の計画策定が、淵野辺駅南口周辺のまちづくりに係る、大野北まちづくり会議としての意見、要望が反映できる最後の機会と認識していることから、まず、基本計画の策定に基づいて、その予定を踏まえ、まちづくり会議における地域課題である「世代間交流」を実現するための方策が、どのように基本計画の理念に反映され、具体的に盛り込まれていくのかについてを懇談の内容としたい。</p>

### 上記テーマに関する地区の取組状況等

取組状況	
------	--

懇談時メモ

項 目	地域でできること、市がやるべきこと、協働でできること

## 大野北地区まちづくりを考える懇談会テーマ

地区のまちづくりに関して、地区でテーマを選定する(原則一つ)。

現在、地区で重点的に取り組んでいるもの。

今後、地区で取り組んでいく必要があるもの。

### テーマの概要・内容

概 要	公共施設の再整備と既存施設の老朽化対策について
内 容	<p>淵野辺駅南口周辺の公共施設の再整備は、大野北地区の長年の課題となっており、平成30年度に策定した「大野北地区まちづくり会議報告書」において、「図書館や公民館等の公共施設を集約・複合化し、再整備することで、大野北地区から市内外へ文化を発信する交流拠点を創る」ことを重点分野の対応方策として取り上げたところである。</p> <p>一方で、新たな検討組織として昨年3月に「次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくり市民検討会」が設置され、構成員によるグループワークやオープンハウスなど様々な取り組みが行われていることを承知しているが、未だに基本計画などの具体的な方策が示されず、地域住民にとっては、不安と同時に不便さが強いられている。また、歳月の経過とともに既存施設の老朽化が進行している状況である。</p> <p>昨年度の懇談会では、まちづくり会議の構成団体としての視点から、テーマに関連した様々な課題や要望をお伝えしたが、時間的な制約もあり、市側からは踏み込んだ回答をいただけなかったと認識している。</p> <p>そこで、昨年度の懇談会での委員の発言要旨を整理した項目に対する市の考えを伺い、さらに議論を深めていくことで、淵野辺駅南口周辺の公共施設の再整備と既存施設の老朽化対策が確実に前進する懇談としたい。</p>

### 上記テーマに関する地区の取組状況等

取組状況	<p>昨年度の懇談会では、多くの委員から発言があった。しかし、時間的な制約もあり、市側から十分な回答をいただけなかったことを踏まえ、今年度のまちづくり会議において、昨年度の各委員の発言内容を整理し、次の三つの項目に取りまとめた。</p> <p><b>【淵野辺駅南口周辺公共施設再整備に関する基本的な考え方】</b></p> <p>市民検討会において様々な取組が進められていることは承知しているが、まちづくり会議としては、公共施設再整備の基本計画が示されない現状に強い危機感を持っている。また、新市長となってシビックプライド(市民の市に対する誇りや愛着等)の考え方が出てきた。</p> <p>これらを踏まえた、淵野辺駅南口周辺の公共施設の再整備に関する市長の基本的な考え方を伺いたい。</p>
------	---

	<p><b>【図書館・公民館の望ましい姿とは】</b>  市内外へ文化を発信する交流発信拠点として、図書館・公民館は有効な施設だと考えると、再整備した場合における図書館と公民館の望ましい姿とはどのようなものと認識しているのかを伺いたい。</p> <p><b>【鹿沼公園再整備の考え方】</b>  平成 29 年度にパブリック・コメントが実施された時の基本計画（案）では鹿沼公園内に公共施設を再整備する案が示された。また、近隣の相模総合補給廠共同使用区域内に芝生広場や軟式野球場などが順次整備されることが先日公表された。  公園施設の経年劣化が著しいことも含め、鹿沼公園の再整備についてどのように考えているのか見解を伺いたい。</p>
<p>担当部署</p>	<p>公園課（参考送付：環境経済総務室）  都市計画課（参考送付：都市建設総務室）  生涯学習課（参考送付：教育総務室）</p>

# 大野北地区まちづくりを考える懇談会 「地域の未来を語ろう with 市長」テーマ

参考 令和元年度

地区のまちづくりに関して、地区でテーマを選定する(原則一つ)。  
現在、地区で重点的に取り組んでいるもの。  
今後、地区で取り組んでいく必要があるもの。

## テーマの概要・内容

概要	公共施設の再整備と既存施設の老朽化対策について
内容	<p>淵野辺駅南口周辺の公共施設の再整備については、本年3月に新たな検討組織として、「次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくり市民検討会」が設置され、現在も検討が進められており、地域住民は進捗状況を注視している状況である。</p> <p>市民検討会のアウトプットとなる基本計画が策定されるまでには、一定の時間を要することは承知しているが、その間にも公民館、図書館、青少年学習センターなどの公共施設の老朽化がますます進行することとなり、地域住民は不便な施設の利用を強いられることになる。</p> <p>特に、公民館については、館区内人口が市内で最も多く、諸室の稼働率も最も高いにもかかわらず、快適な利用に支障をきたす諸室があることに加え、地区内に公民館が一つしかないため、地域住民の交流や生涯学習の場が明らかに不足している状態である。</p> <p>そこで、市民検討会の進捗状況を伺った上で、まちづくり会議構成団体の視点から公共施設の再整備について懇談したい。また、再整備の基本計画が示されない現状を踏まえ、既存施設の老朽化への対応策や地区内の公民館配置のあり方について懇談したい。</p>

## 上記テーマに関する地区の取組状況等

取組状況	<ul style="list-style-type: none"><li>・今年3月に設置された市民検討会には、まちづくり会議の一部の委員も構成員として参画し、検討が進められている。一方で、地域で様々な公共的な活動をしている団体等で構成しているまちづくり会議としても、公共施設の再整備については、強い関心を持っており、意見を反映していただきたいと考えている。</li><li>・次期総合計画及び都市計画マスタープランの策定に当たり、昨年度、まちづくり会議がとりまとめた「大野北地区まちづくり会議報告書」において、図書館や公民館等の公共施設を集約、複合化し、再整備することで、大野北地区から市内外へ文化を発信する交流拠点を創ることを重点分野として取り上げている。</li><li>・公民館は、駅近くの好立地にあるため、地域住民の交流や生涯学習の場として、まちづくり会議の構成団体も頻繁に利用しているが、再整備を考慮して買い控えている備品類がある。現在では、これらが必要になった場合には、自治会等に借用するなど、団体間で協力しながら活動している。</li></ul>
担当部署	公園課(参考送付:環境経済総務室) 都市計画課(参考送付:都市建設総務室) 生涯学習課(参考送付:教育総務室)

## 大野北地区まちづくり懇談会テーマ

テーマの選定について、どちらか選んでください。

地区の課題で、区全域や隣接する地区等に及ぶものなど

地区固有のもの、その他、地区として特に取り組むべきとして地区が選定したものなど

### テーマの概要・内容

概 要	大野北地区のまちづくりと公共施設の再整備について
内 容	区域の人口が6万人を超え、今後も人口増加が予想される大野北地区では、様々な地区の課題を抱えている。主な課題としては、「コミュニティ活動を行う場の不足」、「多文化共生に対する地域住民の意識の向上」、「高齢者の支援」、「若い世代の地域活動への積極的な参画」、「地域活動の新たな担い手が不足」などであるが、これらの課題は、地域住民の交流の場を充足させることで解決できるものとする。この地域を次の世代に引き継いでいくためには、まちづくりの拠点と位置付けられる施設の整備が必要不可欠であるとするが、どのような取組ができるのかを懇談したい。

### 上記テーマに関する課題事項と内容

課題事項 1	公共施設の再整備の検討状況について
内 容	淵野辺駅南口周辺のまちづくりと周辺公共施設の再整備の基本的な方針となる「淵野辺駅南口周辺公共施設再整備・地域活性化基本計画」を策定するにあたり、パブリックコメントを実施したところ、地域住民などから様々な意見が寄せられたことと承知しているが、これらの意見を受けた中で、公共施設の再整備に向けての現在の検討状況を伺いたい。

課題事項 2	複合施設を拠点としたまちづくりについて
内 容	大野北地区は、大型マンションや一戸建て住宅が増えて新しい住民が多くなってきている。また、今後、少子高齢化が進むことにより地域の人間関係が希薄化する恐れがある。このような中、地域の各団体と住民との交流、例えば、国際交流、大学との交流、高齢者と若者との交流などをより促進し、地域の活性化を図る必要があるとする。当地区は地域住民の交流の場が不足していることから、複合施設内に皆が集える多目的な場が必要とするが、相互利用など、複合施設の具体的な活用方策について伺いたい。

### 懇談時メモ

項 目	地域でできること、市がやるべきこと、協働でできること